

【運転・定検状況（区分 ）】

平成 18 年 5 月 15 日

定期検査中の 3 号機における制御棒位置表示に関する警報の発生について

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 3 号機は 5 月 12 日から第 9 回定期検査を開始し、5 月 12 日午前 4 時 36 分に全ての制御棒（185 本）を全挿入して原子炉の運転は停止いたしました。その後、5 月 13 日午後 4 時 26 分頃「制御棒ドリフト」の警報^{*1}が発生したことから、制御棒位置監視盤^{*2}にて制御棒位置を確認したところ、制御棒 1 本が全挿入位置から 1 ノッチ^{*3}引き抜けている状態を示しておりました。

当該制御棒以外の全ての制御棒は全挿入状態を確認しており、プラントの安全上の問題はありませぬ。

今後、当該警報が発生した原因について調査いたします。

以 上

* 1 : 「制御棒ドリフト」の警報

制御棒が所定の位置にない状態となったことを示す警報。

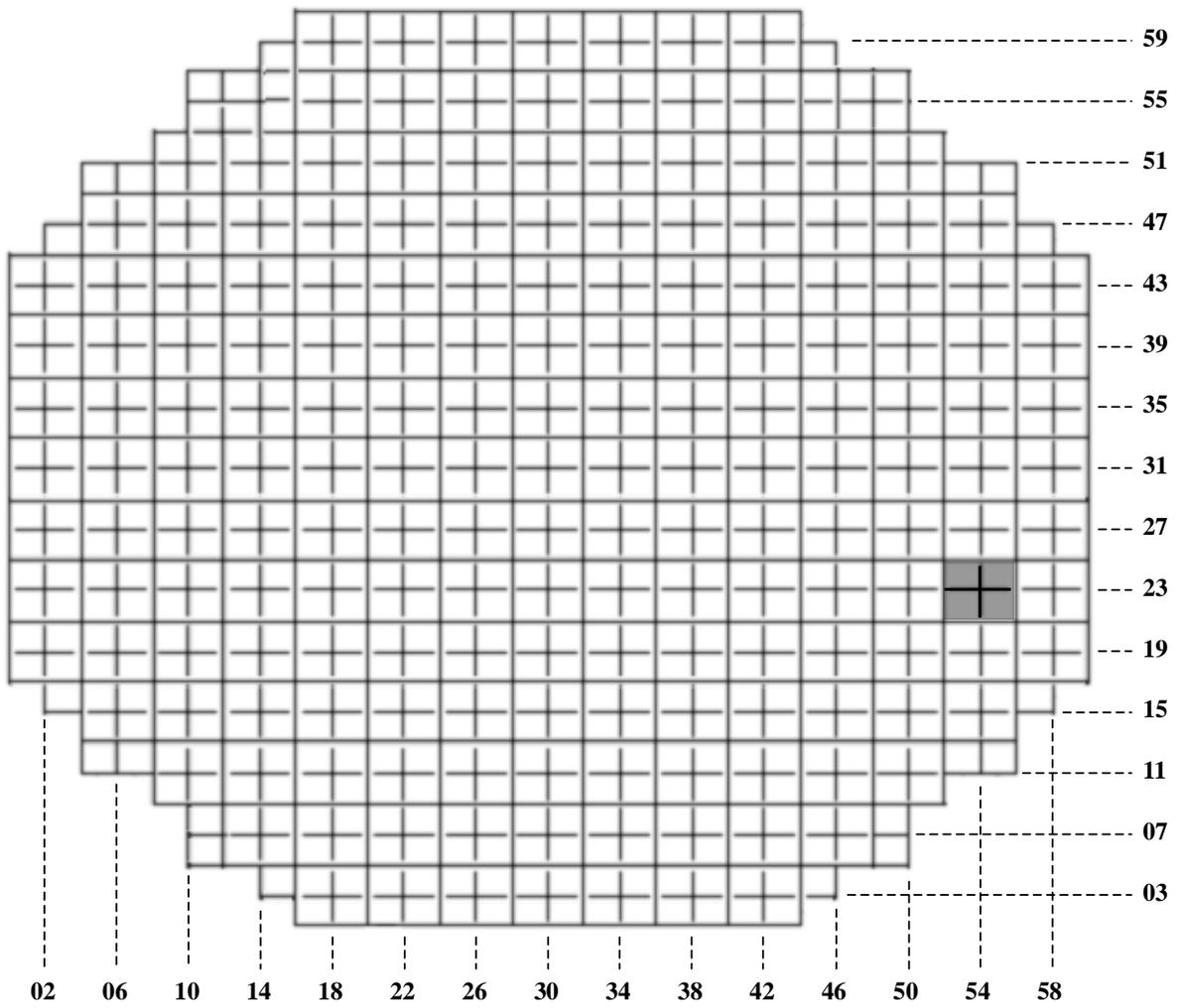
* 2 : 制御棒位置監視盤

制御棒の位置を監視、表示する盤。

* 3 : ノッチ

制御棒を引き抜く際、安全上段階的に引き抜けるようにするために、制御棒の下部にある制御棒駆動機構に等間隔（約 15cm）で 25 ヲ所の溝が設けられてあり、その間隔 1 つ分が 1 ノッチ。制御棒の引抜操作をする際には、制御棒駆動機構に設置されたつめが 1 つずつの溝に引っかかる構造となっている。

本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分 の事象として、発生した不適合事象を翌営業日に取りまとめて公表しているものです。
（不適合事象の公表基準：<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/images/kijun.pdf>）



 ... 当該制御棒

柏崎刈羽原子力発電所 3号機 制御棒配置図